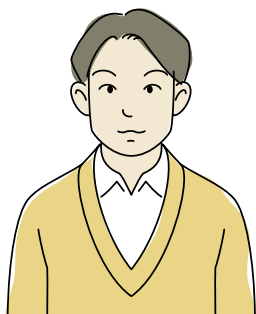
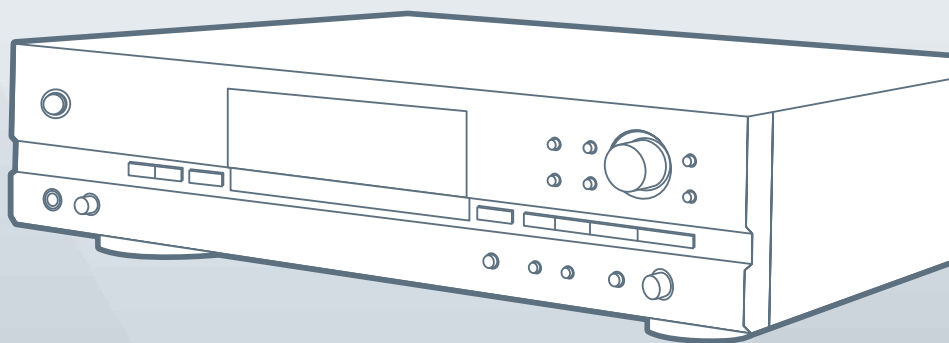




HDD/CDレコーダー

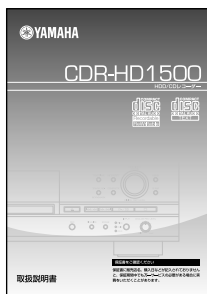
CDR-HD1500

CD作成ガイド



私は丸の内の勤務先まで約1時間の通勤中に、いつも好きな音楽を聴いている。最近、妻から、リビングの棚を占拠しているレコードなどを処分するように言われる。自分でも、古いメディアのものを整理したいと思う。この際だから、全部CDにしちゃおう！

「CDR-HD1500取扱説明書」も、あわせてご覧ください。



はじめに

..... 4

外部機器から
HDDに録音する

..... 11

録音したトラック
を編集する

..... 16

トラックをCDに
コピーする

..... 25

音楽を再生する

..... 29

付録

..... 30

CDR-HD1500でできること

CDR-HD1500で充実した音楽ライフが送れます。

いろいろな外部機器からHDD*に録音できます

アナログ音源



LPレコード



カセット



FM/AMチューナー

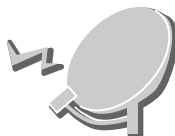
デジタル音源



DAT



MD

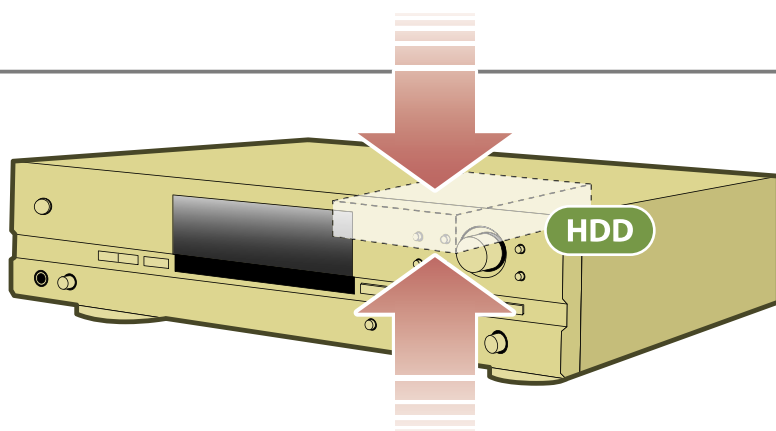


衛星放送



CDプレーヤー /
DVDプレーヤー

著作権保護技術の一つであるSCMSの規定により、
デジタル録音できない場合があります。



内蔵CDドライブからHDDに録音できます

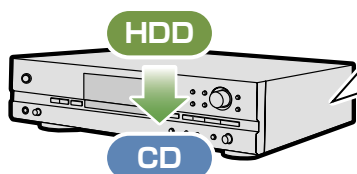


* HDD：ハードディスクドライブ

CDを作成するためには、外部機器の音源をHDDに録音する必要があります。

HDDから音楽CDが作成できます

お好みの曲を集めて
オリジナルCDが作成できます

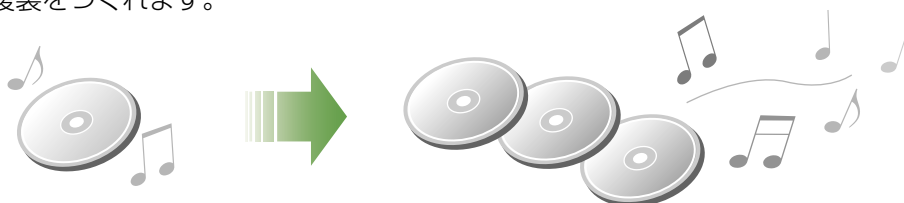


ディスク	トラック	アルバム			
		1	2	3	...999
1	1	✓			
	2			✓	
	3				
	...				
2	1			✓	
	2		✓		
	3	✓			
	...				
3	1			✓	
	2	✓			
	3		✓		
	...				
4	1		✓		
	2	✓			
	3			✓	
	...				
...					
999					

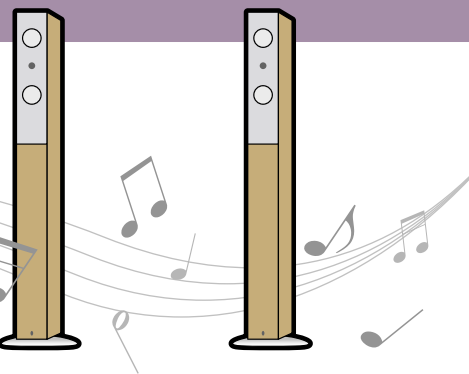
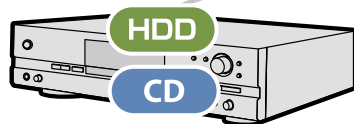
オリジナル
CD



音楽CDの複製をつくれます。



音楽サーバーとして楽しめます



はじめに

HDD (ハードディスクドライブ)を取り付ける

本機の録音機能を使用するには、HDDを取り付ける必要があります。



まず、HDDを取り付けるのか。
SLAVE(スレーブ)に設定するって？



本機でHDDを使用する場合は、どのHDDでも必ずSLAVEに設定してください。設定方法については、HDDの取扱説明書をご覧になるか、HDDのメーカーにお問い合わせください。

HDDを本機に取り付け、フォーマットする

■ HDDを取り付ける準備をする

1 本機で使えるHDDを準備します。

■ 本機で使えるHDDについて

インターフェース：IDE/ATAタイプ

データ転送モード：PIOモード0～4およびマルチワードDMAモード0～2対応

サイズ：3.5インチタイプ

容量：20～400GB (対応しているHDDは400GBまでです。それ以上の容量のHDDの動作は保証しておりません)

HDDへの録音可能時間はそれぞれ以下になっています。

HDDの容量	録音可能時間
80GB	約120時間
160GB	約240時間
200GB	約300時間
320GB	約480時間
400GB	約600時間

動作確認済みのHDDはヤマハホームページ<<http://www.yamaha.co.jp/>>にて確認することができます。

「オーディオ&ビジュアル製品情報」よりCDR-HD1500を選択して、ご覧ください。

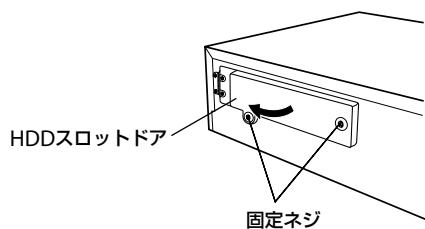
2 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

3 本機と他の機器との接続を外します。

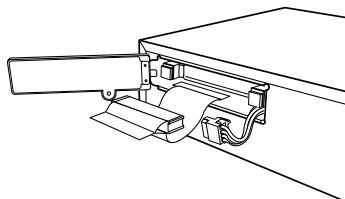
4 HDDをSLAVEに設定します。

■ HDDを本機に取り付ける

- 1** 本体背面のHDDスロットドア固定ネジ2本をゆるめ、HDDスロットドアを開きます。

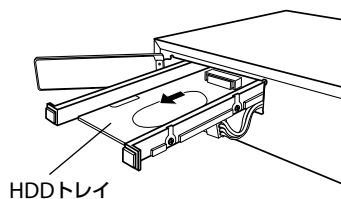


- 2** IDEケーブルと電源ケーブルを外に引き出します。



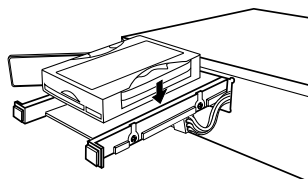
- 3** HDDトレイを引き出します。

HDDトレイを無理に引っ張ったり、必要以上に力を加えたりしないでください。

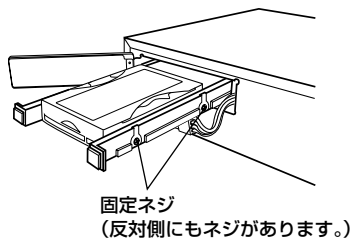


- 4** HDDをHDDトレイに置きます。

シールが貼ってある面を上向きにして、置いてください。その際は、HDDに振動や衝撃を加えないようにしてください。



- 5** HDD固定ネジ4本をしめ、HDDをトレイに固定します。



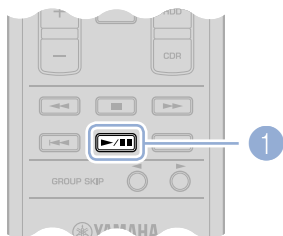
ノート

IDEケーブルと電源ケーブルの接続の際には次の点にご注意ください。

- 端子とコネクタの向きを確認のうえ、しっかりと差し込んでください。
- 静電気により、HDDが破損する場合がありますので、HDDのターミナルピンや基板に触れないようにしてください。
- HDDトレイを無理に押し込んだり、過度の力を加えないでください。

ノート

本機でフォーマット済みのHDDを取り付けた場合は、フォーマットは不要です。他の機器(他のCD-R/HD1500も含む)でフォーマットをしたHDDを取り付ける場合は、本機でフォーマットをし直す必要があります。

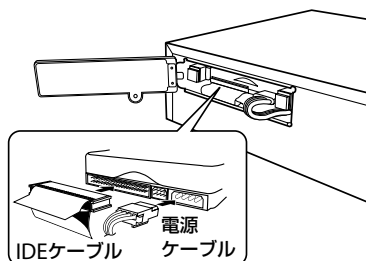


ノート

HDDを取り扱う際は次の点にご注意ください。

- HDDに振動や衝撃を与えないよう、ご注意ください。HDD上のデータが破損したり、HDDが故障する原因となることがあります。
- 衝撃、振動により生じたデータの消失、破損については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 万一、何らかの原因でHDDが故障した場合は、記録されたデータの修復はできません。
- HDDはその性質上、長期的なデータの記録場所としては適していません。一時的な記録場所としてご利用ください。
- 大切なデータを失わないようCD-Rにデータをコピーしておくことをおすすめします。

- 6 HDDトレイを奥に押し込み、IDEケーブルと電源ケーブルを差し込みます。



- 7 トレイを奥に押し込みます。

- 8 HDDスロットドアを閉じて、HDDスロットドア固定ネジ2本をしめます。

■ HDDをフォーマットする

本機で録音を行う場合は、HDDが本機でフォーマットされている必要があります。

- 1 電源コードをコンセントに接続し、電源をいれます。

「Format Start? (フォーマットをしますか?)」と表示されます。

- 2 再生ボタン①を押します。

「Format Really (本当にフォーマットをしますか?)」と表示されます。

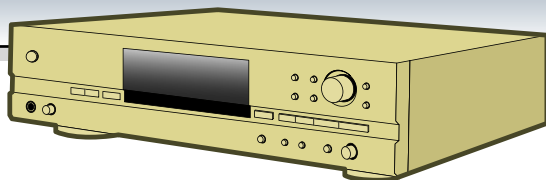
- 3 再生ボタン①を押します。

「Push PLAY KEY (再生ボタンを押してください)」と表示されます。

- 4 再生ボタン①を押します。

「Wait (お待ちください)」が点滅し、しばらくするとフォーマットが始まります。フォーマットは約15秒かかります(「Format OK (無事、フォーマットできました)」と表示されればフォーマットは完了です)。

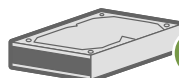
操作の流れ



好みの曲をCDにコピーするまで

HDD取り付け (P4)

本機に曲を録音するにはHDDを取付ける必要があります



HDD

① 接続 (P11)

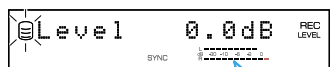
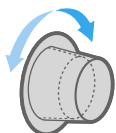
外部機器と本機を接続します (内蔵CDドライブを使って録音するときは不要です)



アンプ / チューナーなど

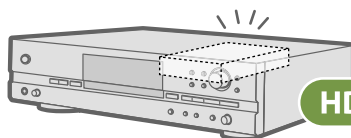
② 設定 (P13)

HDDに録音をするための設定を行います



③ 録音 (P14)

外部機器の曲をHDDに録音します



HDD

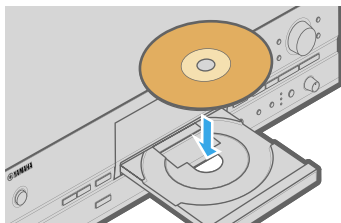
④ 編集 (P16)

録音した曲を編集します



⑤ CDコピー (P25)

HDDの曲をCDにコピーします



⑥ ファイナライズ (P27)

他の機器でもCD再生ができるようにCDのファイナライズをします

基本的なことを理解する

実際に録音を始める前に、基本的なことを理解しておくくと便利です。



ふーむっ、このあたりをしっかりと理解しないとね。

HDDの構成

HDDに録音されるデータは以下のように構成されています。

■トラックとグループ

データはトラックとグループに大別されます。

トラック：曲データのことです。HDDに曲データを録音すると、ディスクというグループの中に収納されます。

グループ：ディスクやアルバム、ブックマークのことです。ディスクやアルバム、ブックマークは、トラック＝曲を1つのグループとして管理しています。

1曲＝1トラックです。1グループには複数のトラックが収納されます。

■グループの種類

グループには、ディスクやアルバム、ブックマークがあります。

ディスク：トラックが録音されるグループです。1つのディスクに99曲まで登録可能です。ディスクはHDDに999まで入ります。

アルバム：いろいろなディスクからお好みのトラックを集めてつくるアルバムです。どのディスクのどのトラックをどの順番で演奏するかという情報で構成されています。

ブックマーク：演奏したい曲やアルバムに入れたい曲に一時的にマークをつけておくものです。アルバムは複数作成できますが、ブックマークは1セットしかつくれません。

お好みの曲を再生したり、CDにコピーしたりするために、HDDのディスク内に録音した曲を、アルバムやブックマークといったグループに分けて、わかりやすく整理します。

ディスク	トラック	ブックマーク	アルバム			
			1	2	3	…999
1	1	✓	✓			
	2	✓			✓	
	3			✓		
	⋮					
2	1	✓			✓	
	2	✓		✓		
	3		✓			
	⋮					
3	1				✓	
	2	✓	✓			
	3	✓		✓		
	⋮					
4	1	✓		✓		
	2		✓			
	3	✓			✓	
	⋮					
⋮						
999						

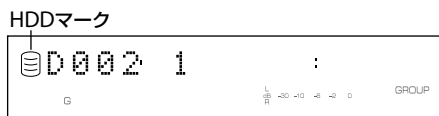
基本的な操作

このガイドでは、リモコンを使って操作を説明していきます。

■ ドライブの切り替え

ハードディスクドライブ(HDD)とCDドライブを切り替えます。

HDDを使う：HDDボタン⑦を押してハードディスクドライブを選択します。



CD-Rを使う：CD-Rボタン⑧を押してCDドライブを選択します。



■ グループとトラックの切り替え

リモコンのENTER(エンター)ボタン④を押してGROUP(グループ)とTRACK(トラック)を切り替えます。

GROUPが選択されているとき、上/下ボタン③/⑥を押して目的のグループ(ディスク/アルバム/ブックマーク)をディスプレイに表示できます。



TRACKが選択されているとき、上/下ボタン③/⑥を押してトラック(曲)を変更できます。



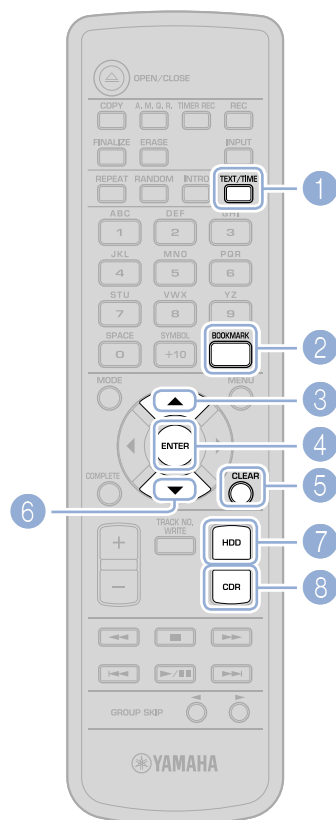
■ ブックマーク

ブックマークをつける：曲の再生中にBOOKMARK(ブックマーク)ボタン②を押します。ブックマークがついた曲にはディスプレイにMARK(マーク)が点灯します。

ブックマークを解除する：ブックマークをつけた曲の再生中に、BOOKMARKボタン②を押します。MARKが消灯します。

ブックマークをすべて解除するには：停止中に本体のBOOKMARKボタンを押しながら、本体のCLEAR(クリア)ボタンを押します。ディスプレイに「Bookmark Clr(ブックマーク消去)」が表示され、ブックマークがすべて解除されます。

リモコンのBOOKMARKボタン②とCLEARボタン⑤は使用できません。ご注意ください。

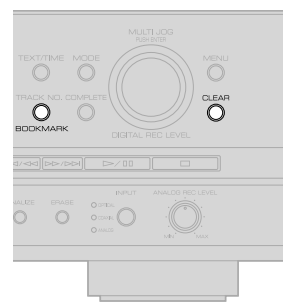


ノート

ディスプレイには、Disc(ディスク) 1、2、3... → Album(アルバム) 1、2、3... → Bookmark(ブックマーク)の順にグループが表示されます。Bookmarkの次にはDisc1が表示されます。

ノート

上ボタン③を押すと数値が減ります。下ボタン⑥を押すと数値が増えます。



■ ディスプレイ表示の切り替え

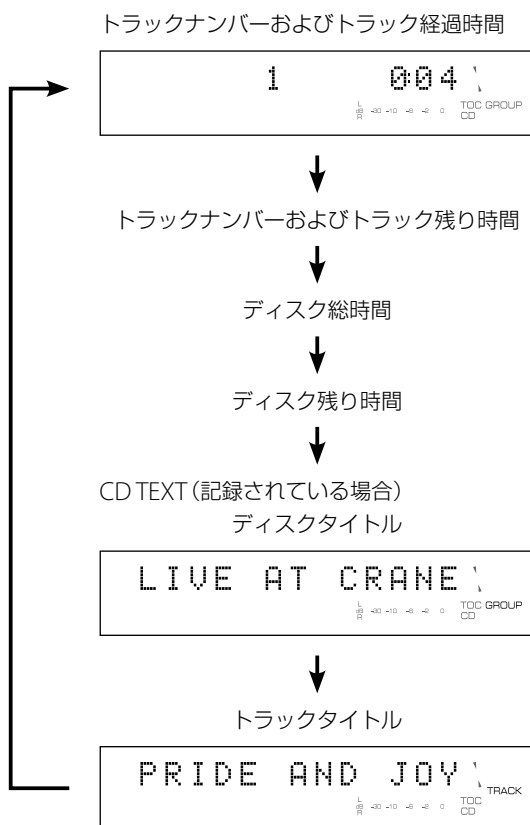
トラックやグループの長さなどの情報をディスプレイに表示させることができます。

長さを知りたいトラック/グループが表示されている状態でTEXT/TIMEボタン①を押します。押すたびに情報が切り替わります。

HDD再生時の表示



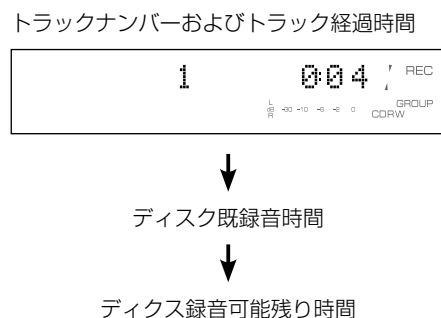
CD再生時の表示



HDD録音時の表示



CD-R/CD-RW録音時の表示



HDDに録音して、オリジナルCDをつくる

外部の音源をHDDに録音し、オリジナルCDを作成するまでの操作を説明します。

作業を大別すると以下ようになります。

録音する

編集する

CDにコピーする

外部機器からHDDに録音する

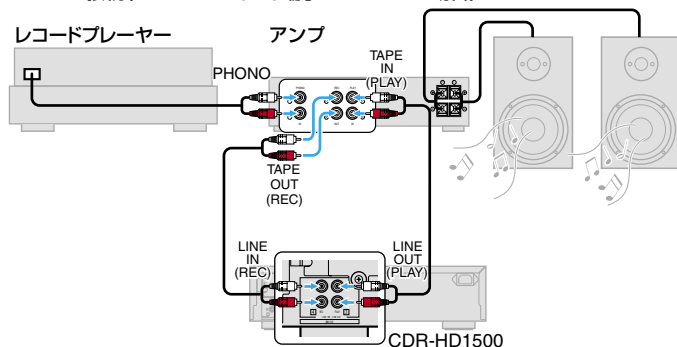
ここではレコードの録音を例にして説明をします。

録音する

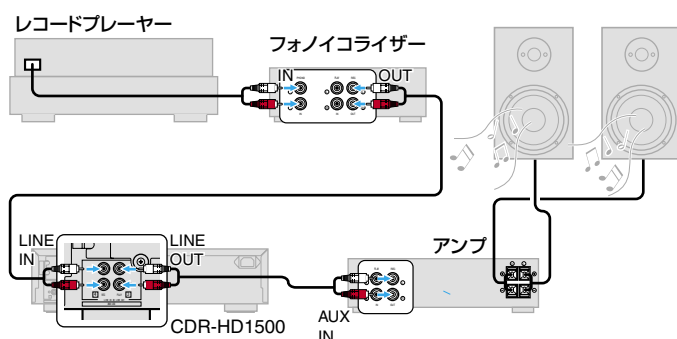
1 図のように、レコードプレーヤー / アンプとCDR-HD1500を接続します。

本機のLINE OUTとアンプのTAPE INなどの空いている端子を接続すると、録音中の曲の再生状態をスピーカーで確認することができます。ヘッドフォンを本機のヘッドフォンジャックに接続するだけでも音をモニターすることができます。

アナログ接続(アンプにPHONO端子がついている場合)



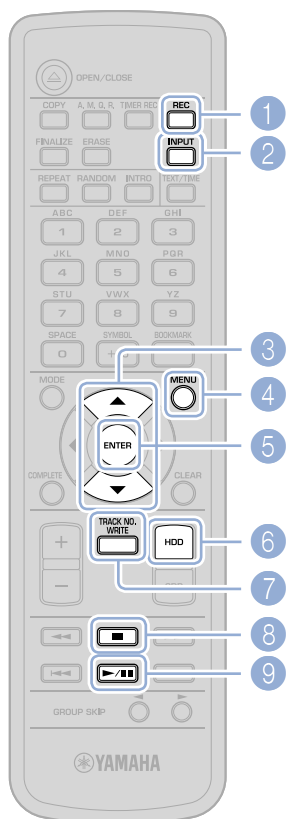
アナログ接続(アンプにPHONO端子がついていない場合)



PHONO端子が付いているアンプね。

ノート

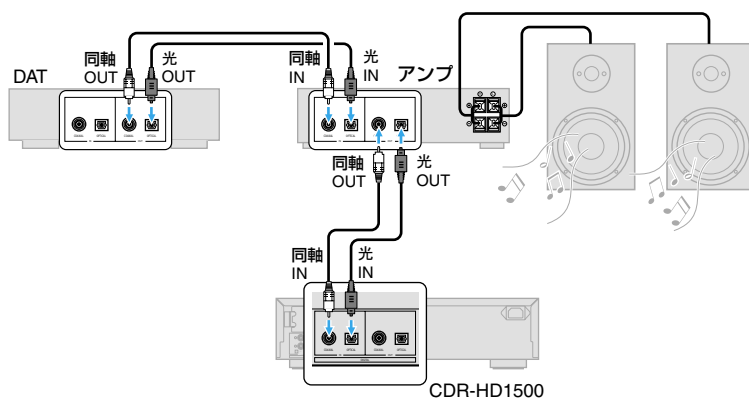
レコードプレーヤーからアンプを経由しないで本機に直接接続しても録音できません。レコード入力対応のPHONO端子付きのアンプが必要です。PHONO端子付きのアンプが使用できない場合は、フォノイコライザーを経由させる必要があります。フォノイコライザーはオーディオ店で買い求められます。



ノート

録音を中止したい場合は停止ボタン⑨を押します。通常の画面に戻ります。

デジタル接続



同軸ケーブルと光ケーブルのうち、どちらかを接続してください

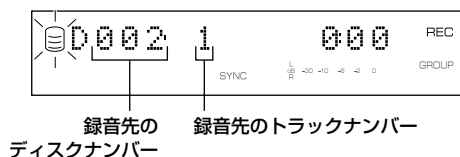
- 2 (CDが選択されている場合は、) HDDボタン⑥を押します。

ディスプレイの左にHDDマークが表示されます。

- 3 REC (録音) ボタン①を押します。

ディスプレイのRECマークが点灯し、HDDマークが点滅を開始します。

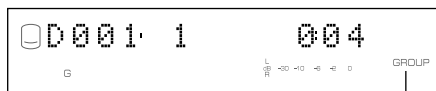
HDD内に録音用の新たなディスク/トラック1が自動的に用意され、ディスプレイに表示されます。これで録音が可能である状態(録音待機状態)になります。



■ 前に録音したディスクに続けて録音する

前に録音したディスクに続けて録音する場合は、録音先のディスクを選択します。選択は以下の手順で行います。

1. ディスプレイにGROUPマークが表示されていることを確認します。



GROUPが表示されていることを確認する

2. 上/下ボタン⑤を押して録音したいディスクを表示させます。

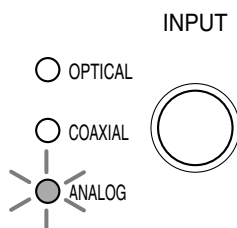
3. ENTER (エンター) ボタン⑤を押します。

ディスクを選択すると、録音可能な空きトラックが自動的に選ばれます。

4

INPUT (入力) ボタン②を(複数回)押して、ANALOG (アナログ) を選択します。

この手順ではアナログ録音の説明をしていますので、ここではANALOGを選択します。

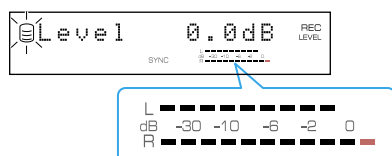


(入力ソースが光デジタルのときはOPTICALを、同軸デジタルのときはCOAXIALを選択します。)

5

メニューボタン④を押して、以下の画面を表示させてから、本体前面のANALOG REC LEVELツマミを回して、録音レベルを調節します。

アナログ録音をしている場合は、録音レベルを調節するためには、録音する音源を再生する必要があります。最大音量時にピークレベルメーターが赤く点灯しない程度に設定します。



(デジタル録音の録音レベルは、0 dB [デジタル音源のまま] に設定されています。自分で調節する場合は、取扱説明書P36をご覧ください。)

6

必要に応じて、HDD録音モードを設定します。

曲と曲の間にトラックマークをつけるための録音モードの設定を行います。初期設定では、Track Synchro (トラックシンクロ) が選択されます。通常の録音では、Track Synchro (トラックシンクロ) のままで問題ありません。

モードには以下のものがあります。

詳細については取扱説明書P37をご覧ください。

録音モード	録音開始/停止 トラックマーク	説明
Manual (マニュアル)	マニュアル	自分でトラックマークをつけます。録音も自分で開始/停止します。
	マニュアル	
Track Synchro (トラックシンクロ)	マニュアル	音源の再生と同期して、自動的にトラックマークがつきます。録音は自分で開始/停止します。
	オート	
Multi Synchro*1 (マルチシンクロ)	オート	音源の再生と同期して、自動的にトラックマークがつきます。指定した曲数を自動的に録音します。
	オート	

ノート

INPUTボタン②で入力を選択できるのは、録音待機状態のときだけです。それ以外では選べません。

ノート

フォノイコライザーと接続している場合は、フォノイコライザーの電源がオンになっていることを確認ください。

ノート

レコードプレーヤーの演奏が始まるまでの時間も無音部分として記録されます。レコードにプレーヤーの針が乗ったところで再生ボタン⑨を押すことをおすすめします。

ノート

再生時に、録音した曲の長さやディスク全体の長さを表示させることができます。詳細についてはP10をご覧ください。



クラシック曲の場合は、トラックマークが余計なところに入ってしまうから難しいよね。LPによっては、逆にトラックマークがつかないものもあるし。なるほど。それって、設定を変えることでうまくいくようになるんだね。

録音モード	録音開始/停止 トラックマーク	説明
All Synchro (オールシンクロ)	オート	音源の再生と同期して、自動的にトラックマークがつきます。全曲を自動的に録音します。
	オート	
Auto Period* ² (オートピリオド)	マニュアル	指定した時間間隔で自動的にトラックマークがつきます。指定した時間を自動的に録音します。
	オート	

*¹ Multi Synchro (マルチシンクロ)では録音する曲数を指定することができます。

*² Auto Period (オートピリオド)では、指定した時間間隔でトラックマークがつけられます。

ほかの設定を選択しても、次の設定時にはTrack Synchro (トラックシンクロ)に戻ります。

7 レコードプレーヤーをスタートさせます。

8 再生ボタン⑨を押して、録音を開始します。

■トラックマークの検出について

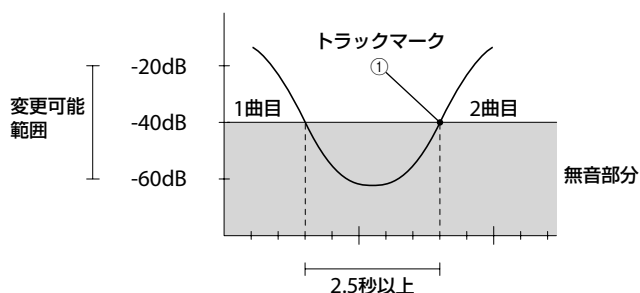
音源によっては、トラックマークの自動検出が難しい場合もあります。この場合は、自分でトラックマークをつけることができます。マークをつけたいタイミングで、リモコンのTRACK NO. WRITE (トラックナンバーライト) ボタン⑦を押してください。

自動検出のときは、音源からの信号(無音部分の長さ)によって曲の開始位置(トラックマーク)を判断しています。自動検出の条件設定(レベル、時間)を変えて、自動検出をしやすくすることもできます。

条件設定例

信号レベルが-40dB以下のときを無音部分に、長さを2.5秒以上に設定

- アナログTHレベル(ANLOG TH Level) … -40 dB
- Int.Time … 2.5sec (変更可能範囲0.5 ~ 5.0sec)



上記の設定では、-40dB以下の音声信号が2.5秒以上続いたあとで、音声信号が-40dBより大きくなったとき(①の部分)にトラックマークがつきます。

詳細については、取扱説明書P38をご覧ください。ただし、自動検出しやすいように条件を変更した場合、意図しないところでトラックマークがつくことがあります。

以上の手順で、HDD内にディスクができて、その中にトラック(曲)が録音されます。曲データが増えるにしたがい、データの管理が難しくなりますので、データ管理リストをつくることをおすすめします。P35に管理リストのサンプルを用意してありますので、ご活用ください。



レコードを録音したらこんな問題点が…

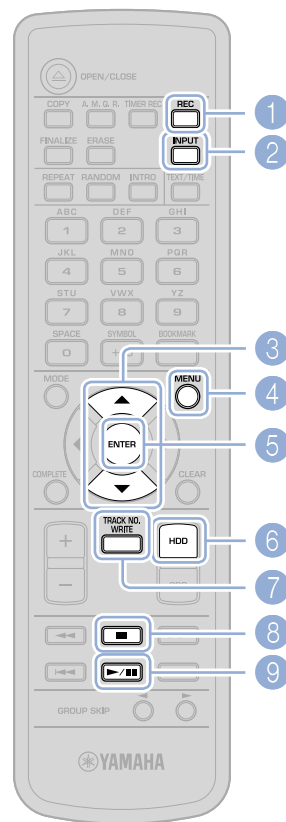
- ① 間違ってトラックマークを付けたので、トラック2が空白になった
- ② 録音開始が早すぎたので、トラック3の先頭に10秒も無音時間が入ってしまった
- ③ 2つの曲の曲間を検出できず、トラック4には2つの曲(トラック)が入ってしまった
- ④ クラシック曲が複数のトラック(トラック5～7)に分かれてしまった



次の章で紹介されている編集機能を使えば問題は解消できるみたいだぞ。

ノート

録音の途中で空きトラックができたり、トラックによっては録音に失敗したりすることがあります。こういったものを修正したり、トラックをもとにお好みのアルバムを作成したりするのが、次の編集ステップです。



本機でラジオ放送などのタイマー予約録音を行うときは、外部タイマーを使用する必要があります。詳細については、取扱説明書P34をご覧ください。

録音したトラックを編集する

HDDに録音したトラックを編集し、修正することで、録音のステップで出てきた問題やテーマを解決します。また、編集機能を使って、オリジナルのアルバムをつくったり、アルバムやディスクを編集してオリジナルCDをつくったりします。

編集する

各編集機能は以下の編集メニューグループに分かれます。

- Track Edit (トラックエディット) → 録音したトラックを編集し、修正する
- Album Edit (アルバムエディット) → アルバムをつくる/編集する → オリジナルのCDをつくる
- Disc Edit (ディスクエディット) → ディスクを編集する → オリジナルCDをつくる

編集作業を大別すると、以下の2つに分かれます。

1. 録音したトラックを編集し、修正する → Track Edit機能
2. オリジナルCDをつくるための編集を行う → Album Edit/ Disc Edit機能



ノート

Undo (アンドゥ)機能を使用すると、直前に行った編集操作を取り消して元の状態に戻す事ができます。詳細については、取扱説明書P72をご覧ください。

1. 録音したトラックを編集し、修正する

録音した後は、Track Edit (トラックエディット)機能(P18)を使ってデータを仕上げます。

■ Q. 録音についての質問

以下は録音したときの問題点です

- ① 間違ってトラックマークを付けたので、トラック2が空白になった
- ② 録音開始が早すぎたので、トラック3の先頭に10秒も無音時間が入ってしまった
- ③ 2つの曲の曲間を検出できず、トラック4には2つの曲(トラック)が入ってしまった
- ④ 1曲のクラシック曲が複数のトラック(トラック5～7)に分かれてしまった



■ A. 質問に対する答え

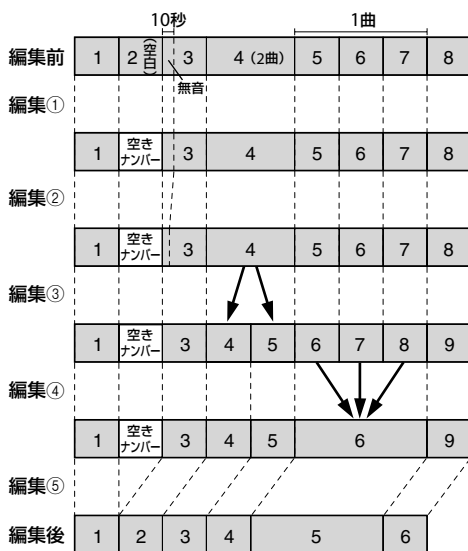
編集機能を使えば簡単に解決できます

- ① トラック2を消去する → Track Erase (トラックイレース)
トラック2は空きナンバーになります。
- ② トラック3の先頭の無音時間を10秒から2秒に減らす → Part Erase (パートイレース)
- ③ トラック4を2つのトラックに分割する → Track Divide (トラックディバイド)
2つに分解したトラック4はトラック4と5になります。後ろのトラック5～8は自動的にトラック6～9に変わります。

④ トラック6～8(元のトラック5～7)を結合する → Track Combine (トラックコンバイン)

編集④のあとでトラックを整理するには

⑤ トラックナンバーをつめて連番にする → Track Pack (トラックパック)



Track Editの操作については取扱説明書P60をご覧ください。

2. オリジナルCDをつくるための編集を行う

オリジナルCDをつくるために、アルバムをつくったり、ディスクを編集したりします。

録音したトラックをCDにコピーするためには、CDコピー用のグループ＝アルバムをつくる必要があります。もちろん、録音したディスク(＝グループ)からそのままCDをつくることもできます。オリジナルのCDをつくる場合は、いろんなディスクからお好みのトラックを集めて、1つのアルバムにします。

アルバムをつくるにはAlbum Edit (アルバムエディット)のAlbum New (アルバム ニュー)機能を使います。

Album Edit /Disc Editの操作については取扱説明書p54、68をご覧ください。



トラック2を消去したからといって、後ろのトラックナンバーは繰り上がらないのか。



前のトラックでトラックを分割したら、その分だけ後ろのトラックナンバーがずれるんだね。これは注意しておかないと。



最後に、トラックパックを使ってトラックナンバーを整理するのか。このままだったら、トラックナンバーが歯抜けになっちゃうよね。

Track Edit (トラックエディット) -トラック(曲)のデータを整理する

録音時に生じた不要な部分を修正したり、曲名をつけたりします。

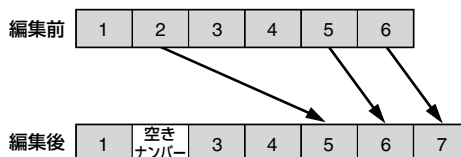
Track Rename (トラック リネーム)	同じグループ内でトラックのナンバーを付け替 えたい
Track Adjust (トラック アジャスト)	トラックの開始位置を早めたい/遅らせたい
Track Erase (トラック イレース)	不要なトラックを消したい
Part Erase (パート イレース)	トラックの一部を消したい
Track Combine (トラック コンバイン)	まちがってトラックマークをつけた2曲(複数曲) を1つのトラックに戻したい
Track Divide (トラック ディバイド)	トラックマークを入れ損ねて1つになった曲を2 つに分けたい
Track pack (トラック パック)*	トラックの順番を変えたり削除したりしてナン バーに空きができたので、ナンバーをつめて連続 させたい
Add Fade In (アド フェードイン)	曲の最初にフェードイン効果を加えたい
Add Fade Out (アド フェードアウト)	曲の最後にフェードアウト効果を加えたい
Track Title (トラック タイトル)	曲に名前をつけたい

* アスタリスク(*)がついている機能は再生中に編集できません。

■ Track Rename (トラック リネーム)

同じグループ内でトラックのナンバーを付け替えます。詳細につい
ては取扱説明書P60をご覧ください。

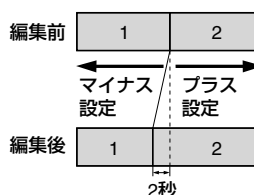
【例】トラック2をトラックナンバー5に付け替える。



■ Track Adjust (トラック アジャスト)

トラックの開始位置を早めます/遅らせます。詳細については取扱説
明書P61をご覧ください。

【例】トラック2の開始位置を2秒早める。



■ Track Erase (トラック イレース)

不要なトラックを消去します。詳細については取扱説明書P62をご覧ください。

【例】トラック2を消去する。

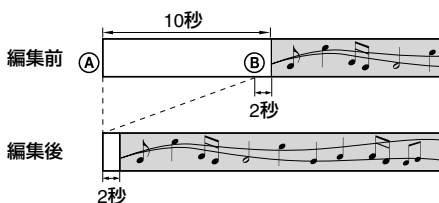
編集前	1	2	3	4	5	6
-----	---	---	---	---	---	---

編集後	1	空き ナンバー	3	4	5	6
-----	---	------------	---	---	---	---

■ Part Erase (パート イレース)

消去の開始位置：Aと終了位置：Bを決めてその間のパート(部分)を削除します。詳細については取扱説明書P62をご覧ください。

【例】曲頭の無音時間を10秒から2秒にする。



■ Track Combine (トラック コンバイン)

2つ以上の連続した複数のトラックを結合させます。詳細については取扱説明書P64をご覧ください。

【例】トラック2、3、4を結合して1つのトラックにする。

編集前	1	2	3	4	5	6
編集後	1	2			5	6

■ Track Divide (トラック ディバイド)

トラックを2つに分割します。詳細については取扱説明書P64をご覧ください。

【例】トラック2を2つに分割する。

編集前	1	2	3	4	
編集後	1	2	3	4	5

■ Track pack (トラック パック)

トラックナンバーを付け替えて、空いているナンバーをつめます。詳細については取扱説明書P65をご覧ください。

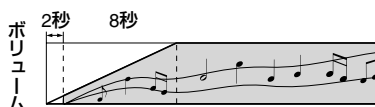
【例】空きナンバーをつめる。



■ Add Fade In (アド フェードイン)/Add Fade Out (アド フェードアウト)

(先頭の曲など)曲の最初に1秒から10秒のフェードイン効果を加えることができます。また、(最後の曲など)曲の最後に1秒から10秒のフェードアウト効果を加えることができます。詳細については取扱説明書P66をご覧ください。

【例】先頭に2秒の無音時間のある曲にフェードインを10秒つける。



【例】最後に2秒の無音時間のある曲にフェードアウトを8秒つける。



■ Track Title (トラック タイトル)

トラックの名前をつけます。詳細については取扱説明書P67をご覧ください。

Album Edit (アルバムエディット)

-アルバムをつくる

HDDの各ディスクにためた曲の中から好きな曲を集めてお好みのアルバムをつくったり、次のステップでCDを作成するための準備を行ったりします。アルバムには99曲まで追加できます。もちろん、CD用のアルバムをつくる場合は、アルバムの曲の長さを使用するCD-R/RWが録音できる時間以内に収める必要があります。

Album New (アルバム ニュー) *	新しくアルバムをつくりたい
Edit Stored (エディット ストアード) *	既存のアルバムに曲を追加したい。既存のアルバムから曲を削除したい
Album Copy (アルバム コピー) *	既存のディスク、アルバム、ブックマークを複製してアルバムをつくりたい
Album Rename (アルバム リネーム) *	アルバムのナンバーを付け替えたい
Album Delete (アルバム デリート)	アルバムを削除したい
Album Pack (アルバム パック) *	アルバムの順番を変えたり削除したりしてナンバーに空きができたので、ナンバーをつめて連続させたい
Album Title (アルバム タイトル)	アルバムに名前をつけたい
Track Shuffle (トラック シャッフル)	アルバム内の曲の順番を変えたい
Track Level (トラック レベル)	アルバム内で音量レベルが異なる曲があるので、その曲のレベルを調節したい
Tr. Interval (トラック インターバル)	すぐに曲が始まってしまうので、トラックが始まる前に無音部分を加えたい

* アスタリスク(*)がついている機能は再生中に編集できません。

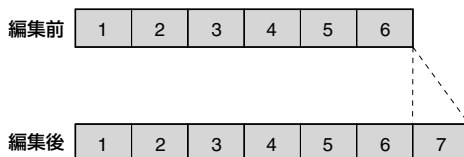
■ Album New (アルバム ニュー)

新たにアルバムを作成します。詳細については取扱説明書P54をご覧ください。

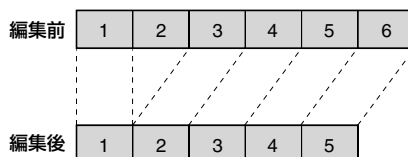
■ Edit Stored (エディット ストアード)

アルバムにトラックを追加したり、アルバムからトラックを削除したりします。詳細については取扱説明書P55をご覧ください。

[例] 6トラックあるアルバムに1曲追加する。



[例] トラック2を削除する。



■ Album Copy (アルバム コピー)

既存のディスクやアルバム、ブックマークをコピーして、新たにアルバムを作成します。詳細については取扱説明書P56をご覧ください。

■ Album Rename (アルバム リネーム)

アルバムのナンバーを付け替えます。機能の仕組みはTrack Rename (P18)と同様です。Track Renameをご覧ください。

■ Album Delete (アルバム デリート)

不要なアルバムを削除します。機能の仕組みはTrack Erase (P19)と同様です。Track Eraseをご覧ください。

■ Album Pack (アルバム パック)

アルバムナンバーを付け替えたり消去したりして空いたナンバーを消して前につめます。機能の仕組みはTrack Pack (P20)と同様です。Track Packをご覧ください。

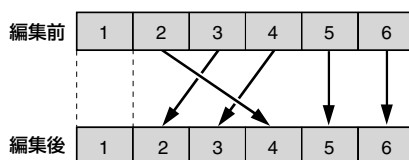
■ Album Title (アルバム タイトル)

アルバム名をつけます。詳細については取扱説明書P50をご覧ください。

■ Track Shuffle (トラック シャッフル)

トラックの順番を入れ替えます。詳細については取扱説明書P58をご覧ください。

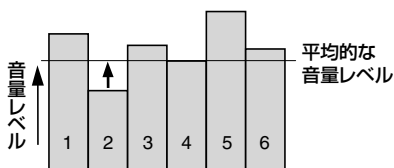
[例]トラック2をトラック5の前に移す。



■ Track Level (トラック レベル)

アルバム内の特定トラックの音量レベルを変えます。詳細については取扱説明書P58をご覧ください。

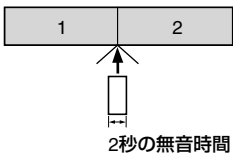
[例]トラック2の音量レベルをアルバムのほかのトラックに揃える。



■ Tr. Interval (トラック インターバル)

曲の先頭に無音時間を入れて、前のトラックとの間隔を調整します。
詳細については取扱説明書P59をご覧ください。

【例】先頭に無音時間のないトラックに2秒無音時間を加える。



Disc Edit (ディスクエディット) -ディスクを整理する

HDD内に録音したディスク/トラックを整理します。Disc Divide以外の操作方法はTrack のものと同様です。Track編集をご覧ください。

Disc Rename (ディスク リネーム)	ディスクナンバーを付け替えたい
Disc Erase (ディスク イレース)	ディスクを消したい
Disc Combine (ディスク コンバイン)	連続したディスクを1つにしたい
Disc Divide* ¹ (ディスク ディバイド)	ディスクを2つに分割したい
Disc Pack* ² (ディスク パック)	ディスクの順番を変えたり削除したりしてナンバーに空き ができたので、ナンバーをつめて連続させたい
Disc Title (ディスク タイトル)	ディスクに名前をつけたい

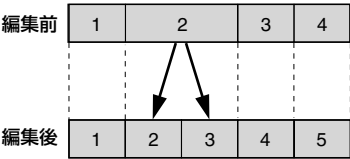
*¹ Disc Divideはディスクをトラック単位に分割します。トラックを秒単位で分割するには、Track Diveideをご覧ください。

*² 再生中に編集できません。

■ Disc Divide (ディスク ディバイド)

ディスクを2つのトラックに分割します。詳細については取扱説明書 P70をご覧ください。

【例】ディスクを2つのトラックに分割する。





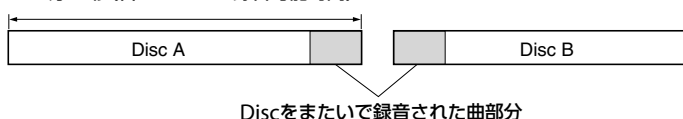
このあたり、知っておくと便利だね。

■ ブックマーク機能を使ってアルバムをつくる

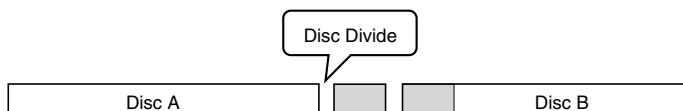
1. HDDに録音した曲を聞きながら、アルバムに入れたい曲にブックマークをつけます。
2. 編集メニューのAlbum Copyを使って、ブックマークのグループからアルバムをコピー /作成します。

■ 録音時間が長すぎて曲データが2つのディスクに分かれた場合の対応

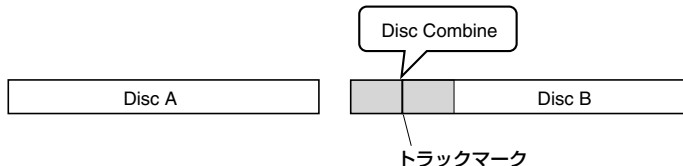
179分59秒(各Discごとの録音可能時間)



1. 前半の曲データが入っているディスクを、Disc Divide機能を使って分割します。



2. 前半の曲データが入っているディスクと後半の曲データが入っているディスクを、Disc Combine機能を使って1つのディスクにします。



3. 前半の曲データと後半の曲データを、Track Combine機能を使って1つのトラックにします。



HDDのトラックをCD-R/RWにコピーする

編集したディスクまたはアルバム、ブックマークに含まれる曲を一度にCD-R/RWにコピーします。

CDにコピーする

HDDに録音したトラックを音楽用CD-R/RWにコピーする/ファイナライズする

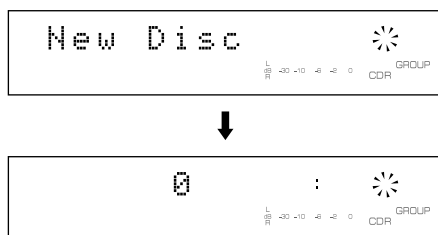
1 音楽用CD-R/RWをディスクトレイにセットします。

コピーには空の音楽用CD-R/CD-RWを使用します。一部に曲がコピーされた未ファイナライズの音楽用CD-R/CD-RWも使用できます。

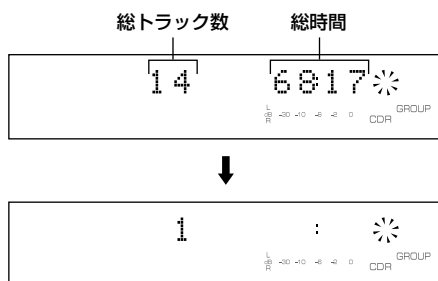
セットすると、ディスプレイ右下のCDマークが点灯します。

音楽用CD-R/RWの読み込みが始まり、ディスプレイに「Reading (リーディング：読み込み中)」が表示されます。音楽用CD-R/RWの読み込みが終了すると、ディスプレイには次のように表示されます。

空の音楽用CD-R/CD-RWの場合：



未ファイナライズの音楽用CD-R/CD-RWの場合：



ノート

CD-R/RWにコピーする前に、アルバム全体の長さを調べて、CD-R/RWの録音可能時間に合わせてトラック数を調整します。

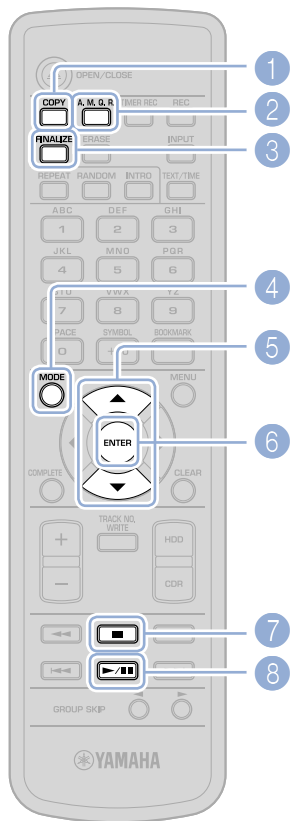
ノート

使用できるCD-R/RWは音楽用のものに限りません。データ用のCD-R/RWを使用すると、ディスプレイ上に「Not Audio (オーディオ用ではありません)」や「Data Track (データ用トラックです)」と表示され、その後「Unrecordable (録音できません)」と表示されます。

詳細については、取扱説明書P80、81をご覧ください。



へーっ、音楽用CD-R/RWというのがあるんだ。というより、それしか使えないのか。CD-R/CD-RWを買うときは「音楽用」と確認しないとね。



ノート

コピーをキャンセルしたい場合は、停止ボタン⑦を押します。通常の画面に戻ります。

ノート

A.M.Q.R.を使用すると、実際に録音できる時間はCD-R/RWに表示されている時間よりも少なくなります。録音できる時間は、74分の音楽用CD-Rで約63分、80分の音楽用CD-Rで約68分です。これはTOCなど曲以外の情報が記録されるからです。

■ CD-RディスクとCD-RWディスク

CD-RディスクとCD-RWディスクには以下のような違いがあります。

- コピー（書き込み）：CD-Rディスクは1回書き込まれた部分には再度書き込みはできません。CD-RWディスクは何回でも書き込みができます。
- 再生：一般のCDプレーヤーで再生できるのは、CD-Rディスクだけです。CD-RWディスクは本機のようなCD-RW対応プレーヤーでしか再生できません。

	複数回の書き込み	再生	
		CD-RW非対応プレーヤー	CD-RW対応プレーヤー
未ファイナライズ*1 CD-R	不可	不可	不可
未ファイナライズ CD-RW	可	不可	不可
ファイナライズ済み CD-R	不可	可	可
ファイナライズ済み CD-RW	可*2	不可	可

*1 ファイナライズについてはP28をご覧ください。

*2 TOCを消去しなければ再び書き込みができません。詳細については取扱説明書P50をご覧ください。

2

COPY(コピー)ボタン①を2回押します。

CD-Rコピー待機状態に入ります。

1回押すと「CD-R → HDD」、2回目で「HDD → CD-R」を選択することになります。

ディスプレイのRECマークが点灯し、HDDマークが点滅します。

■ AudioMASTER™ (A.M.Q.R.)について

オリジナルCD以上の高音質の音楽CD作成を実現するCD-Rの書き込み技術の一つです。再生時の音質低下の原因となる要素を最小限に抑えることで、原音に忠実でクリアなサウンドを実現することができます。CD-Rコピー待機状態で、A.M.Q.R.ボタン②を押すと、設定することができます。設定されると、ディスプレイにA.M.Q.R.マークが表示されます。

AudioMASTER機能を使うと、Digital Moveが適用され、コピーしたグループのデータはHDD上から消去されます。

3

必要に応じて、録音モードを設定します。

■ 録音モードを設定する

以下の3つの中から録音モードを選択することができます。

All Synchro (オールシンクロ) : 全曲を同期コピーします。

Full Auto (フルオート) : 全曲を同期コピーし、CDを自動的にファイナライズします。

Multi Synchro (マルチシンクロ) * : 指定した曲数を同期コピーします。

ここではAll Synchroを選びます。

1. 録音待機状態でMODEボタン④を押します。

2. 上/下ボタン⑤を押して録音モードを選択します。

3. ENTERボタン⑥を押します。

* Multi Synchro (マルチシンクロ)では録音する曲数を指定することができます。

ノート

デジタル/アナログコピーのコピー方式の選択、コピーの音声レベル、コピー速度などコピーする条件も設定できます。

デジタル録音したデータをコピーしようとして、「Can't Copy (コピーできません)」と表示される場合は、このデータはSCMS規定によりデジタルコピーが禁止されていることを意味します。この場合は、コピー方式を変更する必要があります。

SCMSについては、P32をご覧ください。

ノート

CDの条件によっては「Wait (お待ちください)」と表示され、OPC (Optimum Power Control : オプティマム パワー コントロール) という最適化機能が働きます。OPC Adjust (OPCアジャスト: OPC調整) が自動的に実行されますので、約10秒お待ちください。

ノート

手順⑤の段階では、ほかのCDプレーヤーで使用できません。ほかのCDプレーヤーでできるようにするためには、手順④以降を行い、CDをファイナライズする必要があります。

ノート

曲はグループ単位でしか追加できません。追加したい曲はブックマークを使って1つのグループにします。

ノート

コピーモードでFull Autoを選んだ場合、CDは自動的にファイナライズされます。ファイナライズされたCDには曲を追加できません。

4 上/下ボタン⑤を押して、CDにコピーしたいグループ(ディスクまたはアルバム、ブックマーク)を選びます。

5 再生ボタン⑧を押して、コピーを開始します。

ディスプレイには、コピーの進捗状況が表示されます。

ディスプレイに「Wait (お待ちください)」が一時的に表示され、その後、コピーが終了します。

6 (必要に応じて)手順2～5を繰り返し、曲を追加してCDの内容をまとめます。

7 (完成させたいCDをディストレイにセットし、) FINALIZE (ファイナライズ) ボタン③を押します。

ディスプレイに「Finalize OK? (ファイナライズしますか?)」が表示されます。

8 再生ボタン⑧を押して、ファイナライズを開始します。

ディスプレイに「Finalizing (ファイナライズ中)」が表示され、ファイナライズ処理が始まります。

ファイナライズが完了すると、ディスプレイにTOCマークが表示され、ファイナライズが完了します。これで作成したCDがほかのCDプレーヤーでも使えるようになりました。

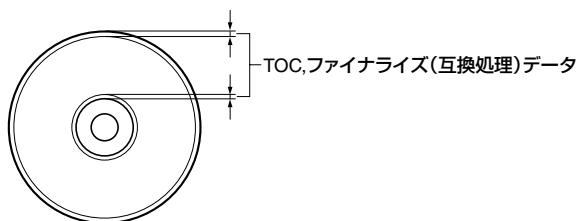


ファイナライズしないと、ほかのCDプレーヤーでは使えないんだ。

■ FINALIZEについて

曲を書き込んだCDはそのままではほかのCDプレーヤーで使用できません。CDをほかのCDプレーヤーで使えるようにすることをファイナライズ(互換処理)といいます。ファイナライズの際、CDにTOC(目次情報)が書き込まれます。

ファイナライズ済みのCD-Rには、残容量があっても曲を追加して書込むことはできません。



やったよ。オリジナルCDの完成だ！意外と簡単にできちゃうんだね。

音楽を再生する

基本的な再生操作からさまざまな用途に応じた再生方法までを説明します。

再生を行う

基本的な再生を行う

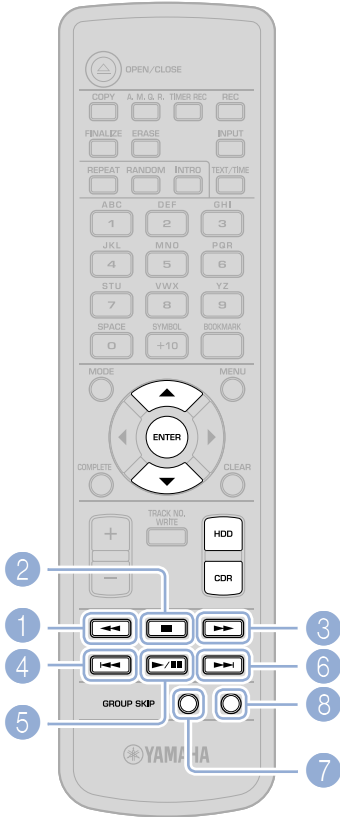
再生	再生ボタン⑥を押します
停止	停止ボタン②を押します
一時停止	再生中に一時停止ボタン⑤を押します
早戻し/早送り	早戻しボタン①を押し続けます/早送りボタン③を押し続けます
前のトラックへスキップ/ 次のトラックへスキップ	前トラックへスキップボタン④を2回押します/次トラックへスキップボタン⑥を押します
前のグループへスキップ/ 次のグループへスキップ	前グループへスキップボタン⑦を押します/次グループへスキップボタン⑧を押します

基本的な再生の詳細については、取扱説明書P21をご覧ください。

目的にあった再生を行う

ジュークボックス(音楽サーバー)として利用したり、好きな再生ができます。

Play Style (プレイスタイル)	演奏する範囲を設定したい (取扱説明書P22をご覧ください)
Repeat (リピート)	同じ曲を繰り返し再生したい (取扱説明書P23をご覧ください)
Random (ランダム)	HDDやCDの曲を順不同に再生したい (取扱説明書P24をご覧ください)
Intros Scan (イントロ スキャン)	曲の最初の部分を指定した時間分だけ、次々に再生したい (取扱説明書P25をご覧ください)
Time Search (タイム サーチ)	聞きたい部分を、時間指定して再生したい(取扱説明書P22をご覧ください)



付録

【ディスプレイの表示メッセージ一覧】

Can' t Copy (キャント コピー)

デジタルコピーはできません。

Can' t Edit (キャント エディット)

編集のできない項目を選択しています。

Can' t Tr. Lev. (キャント トラック レベル)

音声レベルを調整したアルバムはAudioMASTERでコピーできません。

Can' t use HDD (キャント ユーズ ハードディスク)

HDDのフォーマットが異なるので使用できません。

Change Discs! (チェンジ ディスク)

CDを入れ替えてください。

Check Disc (チェック ディスク)

CDが使用できません。CDを確認してください。

Data Track (データ トラック)

データが記録されている(PC用)CDは再生できません。

Disc Full (ディスク フル)

CDの録音容量が限界になりました。録音できません。

Disc No.Full (ディスク ナンバー フル)

HDDに録音できるディスク数は999までです。録音できません。

Drive Check (ドライブ チェック)

HDDがSLAVEに設定されていないなどの理由で使用できません。

Erasing (イレイシング)

CD-RWのデータを消去しています。ほかの作業はできません。

Finalize OK? (ファイナライズ オーケイ?)

CDをファイナライズしていいですか。

Finalizing (ファイナライジング)

ファイナライズ中です。ほかの作業はできません。

Format Really (フォーマット リアリー)

HDDをフォーマットしていいですか。

HDD Full (ハードディスク ドライブ フル)

HDDの録音容量が限界になりました。録音できません。

Imaging (イメージング)

ディスクイメージを作成中です。ほかの作業はできません。

Initialize ? (イニシャライズ?)

設定を購入時の状態に戻しますか。

Invalid Mode (インバリッド モード)

使用できない録音モードを選択しています。録音できません。

New Disc (ニュー ディスク)

ディスクにはなにもデータが入っていません。

No Data (ノー データ)

HDDに曲データが録音されていません。

No Disc (ノー ディスク)

ディスクトレイにCDが入っていません。

No Enough Spc (ノー イナフ スペース)

コピー先のディスク容量が不足しています。録音できません。

No Input (ノー インプット)

デジタル信号が入力されていません。

No Previous (ノー プリビウス)

1つ前のトラックがありません。

No Source (ノー ソース)

コピー元に曲データがありません。

Not Audio (ノット オーディオ)

オーディオ用ではないCDが挿入されています。録音できません。

No Undo data (ノー アンドゥ データ)

編集操作の取り消しができません。

OPC Adjust (オーピーシー アジャスト)

CDの読み取りを調節しています。ほかの作業はできません。

Pack Before ! (パック ビフォア)

編集できません。編集の前にデータナンバーをつめてください(Pack)。

Reading (リーディング)

CDを読み込み中です。ほかの作業はできません。

Recording (レコーディング)

CDにコピー中です。ほかの作業はできません。

Standby (スタンバイ)

CDコピーを準備しています。ほかの作業はできません。

Timer Standby (タイマー スタンバイ)

タイマー録音設定が完了しました。または、タイマー録音を開始します。

Track No.Full (トラック ナンバー フル)

ディスクに録音できるトラック数は99までです。録音できません。

Unavailable (アンアベイラブル)

CDがAudioMASTERでのコピーに対応していません。

Unrecordable (アンレコーダブル)

録音/コピーできないCD/HDDに録音/コピーしようとしています。

Wait (ウェイト)

少しお待ちください。

詳細については取扱説明書P80、81をご覧ください。

用語集

■ AAC

MPEG (Moving Picture Experts Group)という動画規格の中の音声圧縮方式のことです。MP3音声圧縮方式を超える高音質・高圧縮を目的に標準化されました。

■ CD TEXT

CDに記録されているタイトルやアーティスト、歌詞などのテキスト情報のことです。この情報を読み出すには、CD TEXTに対応したプレイヤーやCD-ROMドライブが必要になります。

■ Digital Move

HDDに録音されたデジタルデータをCD-R/RWディスクへ移動することです。デジタルムーブしたデータはHDDから削除されます。これによりSCMSの規定により禁止されているCD → HDD、HDD → CD-R/RWという2世代間のデジタルコピーが可能になります。

■ Format (フォーマット：初期化)

CDなどの記録メディアをコンピュータなどの機器で使用するようにする(データの書き込み方をその機器に合わせる)ことです。

本機でHDDを使用するときには、そのHDDを本機でフォーマットする必要があります。

■ OSD オンスクリーンディスプレイ

本機にモニターを接続し、モニター上に再生するグループやトラックのリスト(一覧)などを表示することです。詳細については、取扱説明書P27をご覧ください。

■ OPC

Optimum Power Controlの略。CD-R/RWディスクは、データの書き込みに必要なレーザーの出力が、ディスクにより異なることがあります。OPCは書き込みを行うディスクの素材に合わせ、レーザーの出力を自動的に調整する機能です。

■ PCM

「Pulse-Code Modulation (パルスコードモジュレーション)」の略で、音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つのことです。音楽用CD (CD-DA)には、PCM方式を利用しています。

■ RS-232C

パソコンとプリンタ、モデム、スキャナなどの周辺機器を接続するためのシリアル通信の規格(コネクタ)の一つです。本機とパソコンを接続するにはRS-232Cケーブル(クロスケーブル)が必要です。

■ Sビデオ/コンポジットビデオ

コンポジットビデオ信号では、輝度信号(Y)と色信号(C)を合成して伝送を行い、Sビデオ信号では、分離して伝送を行います。

分離して伝送を行うSビデオ信号では、コンポジットビデオ信号より画質の劣化が発生しにくく、より鮮明な映像を伝送することができます。

■ SCMS

Serial Copy Management Systemの略。各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号のコピーを「1世代まで」と規制した規格です。

■ TOC

Table of contentsの略。CDに記録されている目次のことで、トラックやセッション情報、CD-TEXTなどが記録されています。TOCを読み込むことで、CDプレイヤーはCDの再生時間を取得したり、目的のトラックにすばやくアクセスしたりできます。

■ エンファシス

音質が向上する記録方式の1つです。音声を記録する前にあらかじめ高音域の音量を上げ、再生時に高音域のレベルを下げます。これにより、高域のノイズを低減します。

■ サンプリング周波数

音声等のアナログ信号をデジタル信号に変換するためには、アナログのデータを定期的に数値化する必要があります。この数値化のことをサンプリングといいます。サンプリングを行う頻度のことをサンプリング周波数といいます。単位はHzになります。

■ MASTER (マスター) / SLAVE (スレーブ)

コンピュータの起動ディスクをMASTERと呼ぶのに対し、制御されるサブのディスクをSLAVEといいます。

本機に接続したHDDは、SLAVEに設定する必要があります。

■ トラックマーク

録音されている部分に記録される区切りのことです。再生機器では、この区切りをもとにトラックのスタート位置を判別しており、本機でも、この区切りを利用して、トラックのサーチやイントロ再生などの機能を行います。本機ではトラックマークを自動および手動で付けることができます。

■ 同軸(Coaxial) / 光(Optical) デジタル端子

音声のデジタル信号を入出力するための端子規格です。データをデジタルのまま送受信するので、データの転送によって音質が劣化しません。

同軸デジタルと光デジタルはコネクタやケーブルの形状が異なりますが、内容的には同じです。

機能マップ

録音やコピー、再生をしていないとき

■ MENU (メニュー) ボタンを押す

Album Edit* (アルバム エディット)

- Album New (アルバム ニュー)
- Edit Stored (エディット ストアード)
- Album Copy (アルバム コピー)
- Album Rename (アルバム リネーム)
- Album Delete (アルバム デリート)
- Album Pack (アルバム パック)
- Album Title (アルバム タイトル)
- Track Shuffle (トラック シャッフル)
- Track Level (トラック レベル)
- Tr. Interval (トラック インターバル)

Track Edit* (トラック エディット)

- Track Rename (トラック リネーム)
- Track Adjust (トラック アジャスト)
- Track Erase (トラック イレース)
- Part Erase (パート イレース)
- Track Combine (トラック コンバイン)
- Track Divide (トラック ディバイド)
- Track pack (トラック パック)
- Add Fade In (アッド フェードイン)
- Add Fade Out (アッド フェードアウト)
- Track Title (トラック タイトル)

Disc Edit* (ディスク エディット)

- Disc Rename (ディスク リネーム)
- Disc Erase (ディスク イレース)
- Disc Combine (ディスク コンバイン)
- Disc Divide (ディスク ディバイド)
- Disc Pack (ディスク パック)
- Disc Title (ディスク タイトル)

* CDドライブが選択されているとき、アスタリスク(*)がついているメニューは表示されません。

Undo (アンドウ)

HDD Utility (HDD ユーティリティ)

- HDD Info. (HDD インフォ)
- HDD Format (HDD フォーマット)

Sys. Utility (システム ユーティリティ)

- Firm. Version (ファームウェア バージョン)
- Initialize (イニシャライズ)
- Dimmer Setup (ディマー セットアップ)
- Video Output (ビデオ アウトプット)
- Auto Play (オート プレイ)
- Firm Update (ファームウェア アップデート)

Synchro Setup (シンクロ セットアップ)

- OPT TH Level (オプティカル スレッショルドレベル)
- COAX TH Level (コアキシャル スレッショルドレベル)
- ANLG TH Level (アナログ スレッショルドレベル)
- Int. Time (インターバル タイム)
- End Duration (エンド デュレーション)

DAC Mode (ダック モード)

* CDドライブが選択されているとき、アスタリスク(*)がついているメニューは表示されません。

■ MODE (モード) ボタンを押す

Time Search (タイム サーチ)

Play Style (プレイ スタイル)*

Repeat (リピート)

- Repeat Single (リピート シングル)
- Repeat Full (リピート フル)

Random (ランダム)

Intros Scan (イントロ スキャン)

* CDドライブが選択されているとき、アスタリスク(*)がついているメニューは表示されません。

HDD録音待機状態で

■ MENU (メニュー) ボタンを押す

Level (レベル)

■ MODE (モード) ボタンを押す

Track Synchro (トラック シンクロ)

Multi Synchro (マルチ シンクロ)

All Synchro (オール シンクロ)

Auto Period (オート ピリオド)

Manual (マニュアル)

CDコピー待機状態で

■ MENU (メニュー) ボタンを押す

Copy Method (コピー メソッド)

— Auto Dig/Anlg (オート デジタル/アナログ)

— Analog Copy (アナログ コピー)

— Digital Move (デジタル ムーブ)

— Digital Copy (デジタル コピー)

Copy Level (コピー レベル)

Copy Speed (コピー スピード)

Imaging Speed* (イメージング スピード)

■ MODE (モード) ボタンを押す

All Synchro (オール シンクロ)

Full Auto* (フル オート)

Multi Synchro (マルチ シンクロ)

* CDからの録音の場合、アスタリスク(*)がついているメニューは表示されません。

ファイナライズされたCD-RWをセットして

■ ERASE (ボタン) を押す

Erase TOC? (イレース トック?)

Erase All? (イレース オール?)

ファイナライズされていないCD-RWをセットして

■ ERASE (ボタン) を押す

Erase Last? (イレース ラスト?)

Erase All? (イレース オール?)

【CDR-HD1500曲管理リスト】

HDDに入れた曲データを管理するのにコピーしてお使いください。

[illegible][illegible]



ヤマハ株式会社